

NPO 日本家族問題相談連盟 勉強会 報告書

実施日	平成 25 年 11 月 2 日	開催地域	東京・大阪・名古屋・札幌・九州・他
実施時間	13:00~15:30	担当インストラクター	玉井洋子 補佐 谷崎真由美
参加人数	3 名	開催会場	福岡市南区野間 1-1-19 ワイズフェアリー事務所内
勉強会テーマ	事例研究会・離婚事情・ビジネス展開していくための心構え		

勉強会報告

- ① 離婚カウンセラーの資格を取得しただけではビジネスはできない
 どんな資格もそうだが、資格を取得してからが本当の学びである。ということ
 私の開業経験を通してお話をしました。
- 事務所を借りる手配や銀行融資を受ける手続き
 - 営業力を身につける話 等

② 事例研究会

実際にあった相談事例

(夫 34 歳、妻 39 歳 夫婦のみ。結婚 1 年 (交際 10 年) 共働き)

ハードワーカーのご夫婦。

夫—経営コンサルで西日本を飛び回る。

妻—広告デザイナーで残業の毎日。

疲れ果てている?のか、入籍してから 1 年間でセックス 1 回。夫には出張先に遊んでいる女性 (飲食店) がいるよう。

姑からは子作りを言われるが、セックスレスでは子供はできない。

マザコン的な関係の姑と夫なので、何かにつけて姑が口を挟んでくる。

妻に持病があるので、それもセックスレスの原因となっているのだろうか。

夫は離婚しないと言っているが、それが本心なのだろうか。

離婚しないけれど、セックスもしないということを使う。普段は仲がよい。

まず、カウンセリングを行う場合、スクールで習得したカウンセリング技術を使って、クライアントさんのしあわせのためにアドバイスすることが大事だと思うが、この案件のポイントはどこにあるかということに瞬時に察する能力が求められてくる。

「あなたはどうしたいの?」のような質問を投げかけていくことも効果的。セックスレスなどの問題はデリケートなので、細心の注意を払うことも必要。参加者でディスカッションを行った。

③ 裁判の流れの説明

調停の際にカウンセラーがどこまで関われるか。等。

参加者からの質問も出たので、その質問に答えていき、終了。

《インストラクター感想》 離婚問題・夫婦問題についても時代の流れと共に変化していると思う。なので、学び続ける必要があると思います。雰囲気よく進められたと思います。